

《特別支援学校坂戸ろう学園の活性化・特色化方針》

種別	聴覚障害	学部・学科	幼稚部・小学部 中学部・高等部	R7.5.1 児童・生徒数	(男) 41 (女) 36	計 77
アクセス	東武東上線 北坂戸駅から徒歩 1 5 分					
＜教育課程等＞						
・ 幼稚部は、「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」、「表現」における発達の側面と自立活動における障害に対応する側面を取り入れた教育課程を編成しています。 ・ 小学部～高等部は小学校、中学校、高等学校に準じた教科学習を行っています。 ・ 高等部では進路希望に応じて、普通科、産業工芸科の2つの学科を設置しています。 ・ 重複部は個々の障害の状況に応じ、教科及び領域別の学習の他に領域・教科を合わせた学習（日常生活の指導、生活単元学習、作業学習）を行っています。						
＜学校行事・部活動＞						
・ 運動会・体育祭（5月）やあゆみ祭（10月）は幼稚部から高等部まで一緒に取り組んでいます。 ・ 修学旅行は高等部第2学年が沖縄、中学部第3学年が栃木・福島方面、小学部第6学年が日光に行きました。他の学年では遠足、宿泊学習等を行っています。 ・ 部活動は、中学部、高等部の生徒が対象で、陸上競技部、バレーボール部、野球部、卓球部、芸術部の5つの部活があります。運動部は、関東聾学校体育連盟の他に中体連、高体連、高野連の大会に参加しています。令和6年度は卓球部が関東聾学校卓球大会（8月）女子団体戦で優勝し、続く全国聾学校卓球大会（11月）でも優勝し日本一になりました。 ・ その他にりんり俳句大賞、お〜いお茶新俳句大賞等、各種俳句コンクールで入賞をしています。						
＜家庭・地域との連携＞						
・ 近隣の保育園や幼稚園、小学校、中学校、高等学校と交流会を実施しています。 ・ 学校公開を年2回（6月、10月）実施しています。 ・ 寄宿舎太鼓サークル「こぼと会」が、坂戸市や地域のイベントで太鼓演奏をしています。						
＜進路＞						
・ 毎年大学等に進学しています。 ＜進学先＞ 立正大学、埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園専攻科、RONA スクール ・ 求人増加に伴い、就職も充実しています。 ＜就職先＞ UD トラックス株式会社						

（※児童生徒数：R7.5.1 現在、進路は R7.3 卒業生の実績）

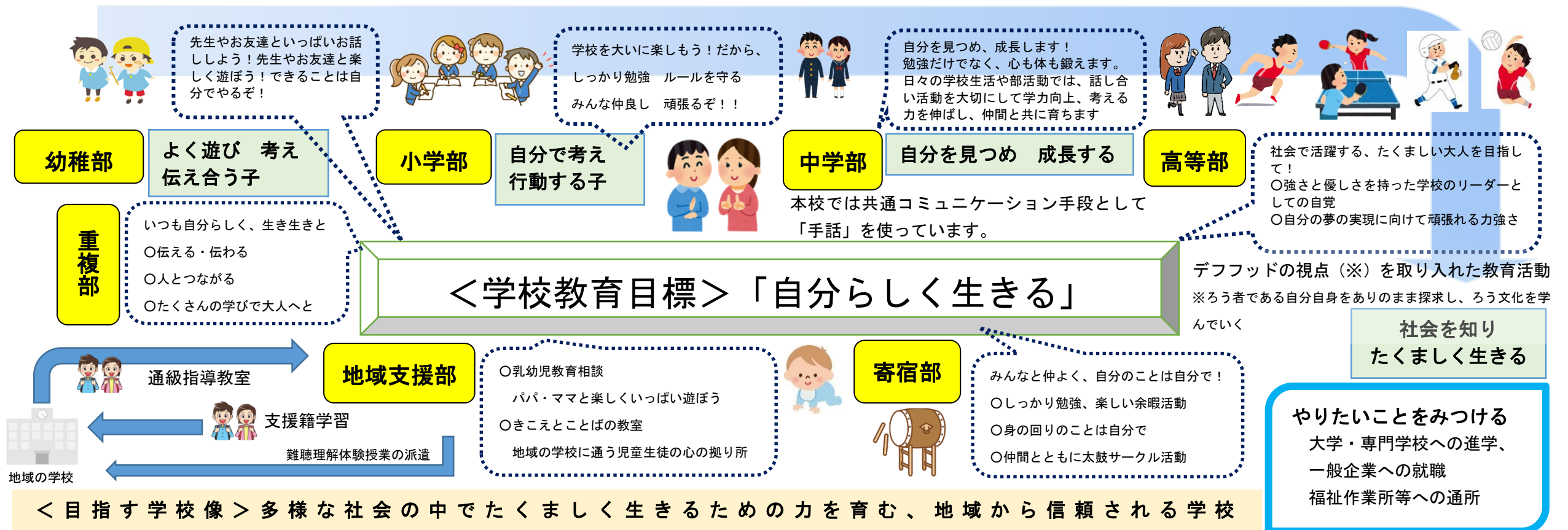
県立特別支援学校坂戸ろう学園 幼児児童生徒の成長物語（育成方針）

聴覚障害の特別支援学校

- 幼稚部・小学部・中学部・高等部、合わせて77名の幼児児童生徒が学んでいます。（R7.5.1現在）
- 乳幼児教育相談が設置されており、0歳児から教育相談を受け付けています。
- 県立学校唯一のきこえとことばの相談支援センターを設置しており、地域の小中学校に通う聴覚に障害のある児童生徒の相談・支援を行っています。巡回教育相談では高校生まで支援しています。

学校の様子

- 共通のコミュニケーション手段を『手話』とし、あらゆるコミュニケーション手段を活用し、学力の向上を図っています。
- 全校の幼児児童生徒が学部を超えてお互いに助け合う、アットホームな雰囲気が本校の魅力です。
- 個に応じた指導を大切にしています。学習内容は、聞こえない・聞こえにくいという特性を十分に踏まえ、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準じた教育をしています。複数の障害を併せ有する幼児児童生徒は、個々の障害の状況に応じて学習内容を工夫しています。
- 中学部、高等部は活発に部活動を行っています。聴覚障害に配慮のある企業への就職のほか大学等への進学希望も増え、そのために教育課程も工夫しています。

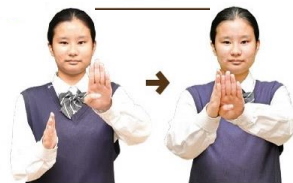


坂戸ろう学園

坂戸ろう学園の1年の出来事

【広報さかど裏表紙「あいらぶ手話」】

令和6年度の坂戸市の広報誌において、本校の生徒が年3回手話表現や学校生活について紹介をしました。



【ブルーライトアップイベント】

9月23日は「手話言語の国際デー」です。坂戸市が主催するイベントに参加し、坂戸駅で手話の普及促進活動を行いました。



【太鼓サークル「こぼと会」】

寄宿舎には太鼓サークルがあります。文化祭や地域の夏祭り、イベント等で発表しています。2025年東京開催のデフリンピック応援イベントで発表しました。

